

### 3 研究の実際

#### (1) 研究の経過

##### ① 研究協力校及び研究協力委員の委嘱

研究協力校及び研究協力委員は、福島市教育委員会の推薦によって委嘱した。

57. 4. 1

##### ・研究協力校

福島市立岳陽中学校

(校長・丹治和一, 10月より羽田義光)

##### ・研究協力委員

福島市立岳陽中学校教諭

小林昭蔵 橋本倫子 斎藤進一

##### ② 研究委員会

○第1回所内研究委員会 57. 4. 8

昨年度の研究概要と本年度の研究方針

○第2回所内研究委員会 57. 4. 22

本年度の研究主題

○第3回所内研究委員会 57. 5. 17

○第4回所内研究委員会 57. 11. 22

研究紀要のプロット検討

本年度の研究構想

○第1回全体研究委員会 57. 5. 26

研究趣旨の説明

○第2回全体研究委員会 57. 7. 19

研究主題とその解決策の設定

事前調査の項目設定

○第3回全体研究委員会 58. 1. 13

研究の反省

##### ③ 研究資料の事前準備

○学習形態の検討と決定(分枝型学習)

○研究資料の様式検討と作成

・学習指導カード

・徴候観察記録

・学習のめあて表

・形成的評価問題と補説問題

・コース別学習課題

・自己評価票

○Y-G性格検査の実施

○イメージテスト(SD法)用紙の作成

○事前(後)テスト問題の作成

○英語学習についてのアンケート調査内容の検討と実施, 整理(事前)

○英語学習についての作文(事前)

以上完了 57. 8月下旬

##### ④ 授業研究の実施

###### 第1回授業研究

“Lesson 5 From Mike’s Diary”(7/8時限)

○学習指導案作成 57. 9. 2

○研究授業及び事後研究会の実施

57. 9. 10

###### 第2回授業研究

“Lesson 6 A Letter from Mary”(1/10時限)

○学習指導案作成 57. 9. 16

○研究授業及び事後研究会の実施

57. 9. 28

###### 第3回授業研究

“Lesson 8 Africa”(1/10時限)

○学習指導案作成 57. 10. 13

○研究授業及び事後研究会の実施

57. 11. 16

##### ⑤ 検証資料の作成, 分析, 事前との比較

○事後テストの実施

○イメージテストの実施

○英語学習についてのアンケート調査の実施

○英語学習について感想文

以上完了 57. 12. 4

#### (2) 研究の内容

##### ① 個の特性把握のための調査・検査

###### ア Y-G性格検査

学習指導において, 生徒一人一人の性格を十分にとらえ, 個の性格に応じた働きかけをしていくことが重要である。

性格は, 生まれつきの気質の上に, 本人をとりまく環境や体験, あるいは生活習慣などの影響を受けて形成されるものである。これを日常生活の観察, 家庭訪問, 性格検査などから総合的にとらえていくのである。この検査は, 広く活用されている検査で, 児童生徒の情緒の安定性, 社会的適応性, 活動性, 衝動性, 内省性, 主導性の六つの面から性格をとらえることができる。